



新年のごあいさつ

八重瀬町長 比屋根 方次

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様方には清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平成一八年一月に旧東風平町と旧具志頭村が合併し、「八重瀬町」が誕生してから五年目を迎え、新しい年を町民の皆様方と共に祝うことができずことを大変嬉しく思います。また町民の皆様方には、平素から町行政全般にわたりあたたかいご支援・ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、我が国の経済は相変わらず、景気の低迷が続く不況が続いているのが現状であります。国においては、景気浮揚対策として、地域経済活性化・経済危機対策事業、緊急雇用創出事業、子育て支援事業などを実施し、対策を図りましたが、以前として厳しい状況に悩まされています。

とりわけ沖縄県は失業率が依然として全国一となり更なる雇用対策の強化が急がれております。本町におきましても、引き続き本年度も国、県の支援を得て、緊急雇用創出事業や雇用再生特別事業を実施し地域の活性化を図る所存であります。

平成二十三年度は、老朽化した具志頭小学校、白川小学校の大型建設事業を実施し、教育施設の整備を推進します。更に引き続き伊覇、屋宜原地区区画整理事業、公園整備事業などの公共事業を実施し、地域の活性化を図ります。

さて、本町は将来の「まちづくり」のため、第一次八重瀬町総合計画を策定し、推進しているところでございます。基本計画の将来像「大地の活力とうまんちゅの魂が創り出す自然共生の清らまち」のもと、農漁業、商工観光の振興や、市街地及び集落整備を基本施策とした「調和の取れた安全・安心なまちづくり」、健康づくり、高齢者・子育て支援などの施策による「結いの心で支えあうふれあいのまちづくり」、学校教育及び生涯教育の充実などを施策とした「夢と未来を拓く心豊かなまちづくり」等を基本方針に掲げ、実現に向け取り組んでいきます。

このような施策を実現するためには、町民をはじめ各機関・団体のご理解・ご支援は欠かせませんので今後ともご協力の程お願い申し上げます。今年も八重瀬町民との対話を深めながら町民福祉向上のため頑張りたいと思っておりますので、町民皆様のお一層のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

新春の門出に当たり、新しい年が町民皆様にとって夢と希望に満ちた幸多い年になりますよう祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

平成二十三年 元旦



新年のごあいさつ

八重瀬町議会議長 知念 昭則

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様には格別のご理解をいただき議会運営もスムーズに推移しており大変喜んでおります。

昨年は、統一地方選挙の当たり年で、本町に於きましても九月には議員選挙が行われ、改めて十六名の議員が誕生しました。そして、すばらしい八重瀬町づくりのために皆で頑張っております。

昔から議会と執行部は車の車輪によく例えられます。バランス良く、離れすぎず、くっつきすぎず、方向性を見定めて進むことが理想とされており、私達も一議員として、それを肝に銘じて邁進してまいります。

世の中、何が起るか全く予測できない時代となっております。台風銀座といわれた沖縄に二・三年も台風はなく、地震がほとんどなかった本県に大型地震があったり、ゲリラ豪雨の連続など今般の自然現象には一種の恐怖さえ感じます。

沖縄県内に目を向けますと尖閣諸島における中国漁船の衝突事件は、我々の常識を覆すショッキングな事件であり、国の防衛政策について多くの疑問が残りました。また、米軍の普天間基地の辺野古回帰については、ほとんどの県民が怒りを覚えたことと思っております。それと同時に私は、日本政府の本音を目の当たりにした思いで失望しております。

八重瀬町に目を向けますと長引く不況の波が我が町にも確実に打ち寄せています。財政状況は相変わらず厳しさを増す一方であり、町行政の英知が問われています。その中でも未来を託す子どもたちのために具志頭小学校や白川小学校の校舎改築がスタートしました。この事は、百三十年前に私たち八重瀬町の先輩が生活は苦しくとも子どもたちには教育をという事で小学校を建設した時の意志を踏襲したものだと考えております。

卯年の今年も多くの皆様の意見を聞き、町政の中に活かせるように議会一丸となり頑張ります。そして、暮らしやすい町、安全安心のまちづくりのために全力を尽くします。

結びに、町民皆様方のご健勝とご多幸を祈念して新年のあいさついたします。

平成二十三年 元旦



町民へのご協力願ひ

次代を担う青少年が、心身共に健やかに成長することは全町民の願いであり、同時に青少年の伸びる力を支援し、健全育成に努めることが、私たちに課せられた重要な責務です。

昨年8月、本町で起きた少年による傷害事件を受けて、八重瀬町「事件・事故から子どもを守る」緊急町民大会（同実行委員会、委員長：比屋根方次）が11月14日、八重瀬町東風平体育館で開かれました。町内の各種団体や多くの町民が参加し、青少年の健全育成に努めることを再確認しました。

うちの子
よその子
八重瀬の子
みんなではぐくむ明るい社会

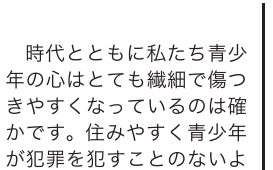
- 一 「命」の尊さを育み、思いやりのある青少年を育成します
- 一 「いじめ」「暴力」「虐待」のない明るい社会をみんなで作ります
- 一 毎月第3金曜日の「少年を守る日」、「深夜はいかい・飲酒等非行の芽生えを許さない愛の一声運動」を展開します
- 一 毎月第3土曜日「地域教育の日」を推進し、地域活動に積極的に参加させ、友愛と連携の輪を広げる青少年を育成します
- 一 毎月第3日曜日「家庭の日」を推進し、家族のふれあいを深め、明るく楽しい家庭づくりに努めます
- 一 「大人が変われば、子どもも変わる運動」を推進します
- 一 安全で安心して暮らせる社会の実現を目指す「ちゅらさん運動」を推進します
- 一 沖縄の「夜型社会」を改善するために、シンデレラタイムを励行し、特にこどもの夜8時以降の外出については、注意を促します

各世代からの決意表明



下西海斗さん
東風平中学校3年

八重瀬町内の事件や県内の少年による事件の多さを目の当たりにして、他人事ではなくもっと真剣に考えないといけないと実感しました。みんなが学校に来れる環境をつくり、みんな笑顔で卒業式を迎えられるようにしたいです。「いじめや暴力は絶対にダメだ」と勇気を持って命を大切に生きていきたいです。子どもや大人、地域の人たちが心をつなげて明るい社会を築いていきましょう。



下門申吾さん
町青年連合会会長

青年会活動とおして、先輩方から社会生活に必要なことを多く学ぶことができ、その経験は、今の自分の仕事や生活に大いに役立っており、これからの子どもたちにとっても同じことが言えると思います。年齢の近い私たちなら、相談しやすい・話しやすいといったことで関わりを持ち、問題解決のきっかけになるかもしれません。各字にある地域行事へ青少年が積極的に参加できるような体制づくりをすることにより、子どもたちが健やかに成長し、その関わりの中で青年連合会も一緒に成長することができるよう努力します。



国場深夫さん
町区長・自治会会長

今大会により、町民が危機感を持って、関心を持たなければなりません。この大会の命題が、ただのスローガンに終わらせないためには、お互いがどうすればいいのかを考えることが重要です。今、問われているのは大人であり、家庭、地域、社会の協力、絆の強さが問われているのではないのでしょうか。社会問題は、みんなの問題であり、いま真剣に向き合わなければならない責務です。



仲本一弥さん
町PTA連合会会長

保護者として言葉遣い、整理整頓、家の手伝い、時間を守るなど家庭内でのしつけをしっかり指導していきたいです。次代を担う青少年、日本、沖縄、八重瀬町を担う青少年たちの健全育成のために私たち大人も一生懸命頑張ります。子育ての先輩であるおじいちゃん、おばあちゃんを含めた地域のみなさまのご協力をお願いします。



知念菜美さん
南部商業高等学校3年

東風平小学校
創立130周年

新たな一步を祝う



八重瀬町立東風平小学校（石川宏校長）の創立百三周年記念式典と祝賀会が11月27日、同校の体育館で開かれました。同校の児童、教職員、PTA、卒業生らが参加し、母校の歴史に思いをはせ今後の発展を祈念しました。式典で、石川校長は「21世紀をたくましく生き抜く東風平の子の育成に努めたい」と式辞を述べ、児童を代表した上原健作くんは「記念すべきこの年に最上級生として、この学校で学んでいることを誇りに思います。これから多くの人が学び、この先五十年、百年と引き継がれていくことを願い、ほくも負けないように夢に向かって頑張ります」と決意を述べました。また、石原誠仁期成会長は「記念事業として、町民の善意で送られた学校車両、遊具、その他備品等を児童の学力向上、心身の発達のために有効に活用してほしいと願っています」と挨拶しました。

同校は明治十三年に東風平小学校として児童男子29人で開校し、大正、昭和、平成と激しく移り変わる時代の中で、東風平国民小学校、東風平中初等学校など校名を変えながら、現在の東風平小学校となっています。

祝賀会では、やえせ桜健康総合クラブやPTAなどによる余興があり、来場者は百三周年の節目を祝いました。

八重瀬町カラフルベジタブルフェスタ



まちの自然と採れたてカラベジを満載！

豊かな土壌に恵まれ、古くから農業の盛んな町として知られる八重瀬町で11月14日、「八重瀬町カラフルベジタブルフェスタ」（主催：同町カラベジプロジェクト推進委員会）がヘリオスブルワリー・レストランで開催されました。

1日限定で「八重瀬ブルワリーレストラン&ミニファーマーズ」がオープンし、八重瀬町の食材を使った八重瀬ならではの料理と出来たての地ビール、採れたて野菜と加工品のお得な即売会に訪れた人は、八重瀬らしさを味わい、カラベジとの出会いに喜んでいました。また、午後からはカラベジ畑をバスで巡るツアーや料理体験、カラベジ推奨品認定交付式なども行われ、まちの魅力を発信するフェスタとなりました。

カラベジ推奨品として「やえせバーガー」など町内9事業所の24品目を認定し、認定証を交付しました



一日限定のレストラン内は大盛況！ ジャズの生演奏も

新鮮野菜を使ったカラベジ料理体験

ミニファーマーズ



韓国出身の貞さんが作ったイカキムチ

デザートとおすすめ「ぐしちゃんいものスイートポテト」

これからも新しい商品を作りたいです

なでしこおすすめ「にんにくの滴」

いもの日にPR

県内有数の甘藷地域などをつくる実行委員会が甘藷の収穫が最盛期の11月を迎えるにあたって、11月16日を語呂合わせで「いもの日」と制定しました。本町は、平成17年に県の拠点産地にも認定されるなど県内でも有数の芋の産地です。11月16日、八重瀬町役場東風平庁舎ロビーにおいて、ぐしちゃんいも生産組合のメンバーが収穫した芋を来庁する方へ無料配布しました。また、沖縄の島野菜であるカズラを品種改良した「ぐしちゃんいい菜」の和え物の試食もあり「ぐしちゃん紅」と併せて広くPRしました。



気になる「ぐしちゃんいい菜」



いもを使ったお酒やお菓子



無料で配布された「ぐしちゃん紅」



宮城八重子さん

安里喜美子さん



親子でいも掘り

四ツ葉地区親子いも掘り体験（主催：八重瀬町社会福祉協議会）が11月20日、字長毛にある農地で行われました。これは、四ツ葉地区内の子ども会（吉田・むらうち・東原・はばたけ・伊覇・上田原・屋原）が「いも掘り体験を通して健全な親子関係を築きあげるとともに農業の大切さや自然環境について理解してもらおう」と企画されたもので、2回目のいも掘りとなる吉田菜季さん（9）は「今日は、いっぱいいもが取れて楽しかった。また来たいです」と元気に話していました。また、参加した親子は土の触れ合いを楽しみながら、収穫の喜びを味わっていました。

第5回 やえせ桜まつり

日時：平成23年1月30日（日）
場所：八重瀬公園内
イベント内容：舞台イベント／汗水節大会／振る舞い酒／フォトコンテスト／ふれあい動物園など